

平成27年度「学校・家庭・地域連携サポート事業」 学校支援実践研修会

◎期 日:平成28年1月28日(木)13:30~16:30

◎会 場:三春町立岩江小学校 三春町岩江センター

【研修内容】

◎岩江小学校での「むかしあそびをしよう」における体験学習支援活動参観!

◎三春町岩江センターの学校支援本部事業についての概要説明と実践報告



【目 的】

学校支援事業や放課後支援事業の取組の実施状況を参観し、成果や現状について協議するなど実践を学ぶための研修会を行い、事業への理解を深め関係者の資質向上を図るとともに実施校の拡充を図る。

【主 催】

福島県教育委員会

(受付)13:30~ 岩江センター

13:40 ~13:50 ◇開 会
・あいさつ ・諸連絡

移動(岩江小学校へ)

14:00 ~ 14:45 ◇支援活動参観
岩江小学校 第1学年「生活科」
「むかしあそびをしよう」で、学校支援
ボランティアの活用状況を中心に参
観)

移動(岩江センターへ)
<休 憩>

15:00 ~ 15:30 ◇概要説明
「三春町の学校支援本部事業
について」
(岩江センター長 伊丹勇次郎 氏)

15:30 ~ 16:00 ◇講 話
「学校支援地域本部事業の事例と
今後の事業展開について」
(福島県教育庁社会教育課
社会教育主事兼指導主事
土屋 好二 氏)

16:00~ 16:20 ◇質疑応答・情報交換

16:20~ ◇閉 会(解散)



□ 支援活動参観

「生活科」における〈むかしあそび〉の体験学習支援

- 三春町立岩江小学校 第1学年 「生活科」における、「むかしあそびをしよう」で支援活動を参観。
- あやとり・かるた・おはじき・ビー玉・お手玉・かんぽっくり・メンコ・すごろく・折り紙のむかしあそび体験学習で、各グループ（4～5人）に対してボランティアが1～2名つき、やり方・遊び方の支援をした。子どもたちは笑顔いっぱい、それぞれに楽しかったと感想を言っていた。また、次回もやりたいとの声もあった。参観者もむかしあそびに参加し、活動を共有することができた。



□ 概要説明および実践報告

「三春町の学校支援本部事業について」

講師：三春町岩江センター長 伊丹勇次郎 氏

- 公民館長とコーディネーターを兼務して活動している。
- 平成26年度当初は、戸惑いがあり学校側のニーズに受け身であったが、岩江地区（小・中学校）の依頼内容が理解できるようになり、積極的支援が可能になった。
- 岩江中学校－敬老会・職業シンポジウム・岩江地区文化祭などのコーディネートを実施した。
- 岩江小学校－岩江地区合同運動会・森林環境学習（木工クラフト）・むかしあそび・通学道路の不具合箇所の改善。3年生の総合的な学習の時間の支援・岩江センター見学案内などのコーディネートを実施した。
- 学校との対話を大切にしながらニーズに応え、地域の人材を発掘し地域づくりを目指している。



「学校支援地域本部事業の事例と今後の事業展開について」

講師：福島県教育庁社会教育課社会教育主事兼指導主事 土屋好二 氏

- 学校支援地域本部事業の全国的な展開、及び本県における実施市町村等の推移。
- 特色ある取組事例。
【学習支援】 伝統文化、裁縫、和楽器の指導、語り部による民話。
【登下校の見守り】 児童・生徒の登下校における安全パトロール。
【環境整備】 学校敷地内の草刈り、樹木の剪定作業、花づくり等。
- コーディネーターの役割
【企画・立案】、【調整役】、【人材育成】など。
- その他、成果・課題・今後の方向性について説明があった。



◇参加者の声・感想等

○「むかしあそび」をみせてもらい、ボランティアが笑顔で接しているのがすばらしい。

○「むかしあそび」は時間が足りなかったように思った。子どもの遊びの集中力はすごい。

○三春町は、コミュニティースクールを導入しているので、バックアップしてくれる団体があるのは大変良い。

○65歳未満のボランティアの確保は難しい状況である。